

第 11 回 議会のあり方調査特別委員会 会議概要

【開催日】 平成 26 年 9 月 29 日

【開催場所】 第 1 委員会室

【会議時間】 午前 10 時～午前 11 時 55 分

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河崎平男
委員	石田清廉	委員	伊藤 實
委員	河野朋子	委員	下瀬俊夫
委員	松尾数則		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	尾山信義	副議長	三浦英統
----	------	-----	------

【傍聴議員】

議員	大井淳一郎	議員	岡山 明
議員	山田伸幸	議員	吉永美子

【事務局出席者】

事務局長	古川博三	事務局次長	清水 保
------	------	-------	------

【調査事項】

- 1 これまでの調査結果の総括について
- 2 今後の調査スケジュールについて
 - (1) 政策立案機能
 - (2) 市民参加
 - (3) 災害時における議会の対応
- 3 その他
 - (1) その他
 - (2) 次回委員会開催日について

【会議の概要】

1 これまでの調査結果の総括について

これまでの調査の総括を行った。

委員の主な意見

- 議会資料の傍聴者への配布とインターネットでの公表が開始されたが、インターネットで傍聴していた人から資料を同時に見ることができてよくなったという感想をもらったので、すごくよかった。
- この委員会で決定したことを順次実行していく姿勢はいい。これからもこの姿勢を変えずにやっていけば、議会改革がどんどん進んでいく。
- フェイスブックについて、市民が関心のある記事などを今後議会広報部会で議論してもらいたい。

2 今後の調査スケジュールについて

委員の主な意見

- 政策形成サイクルについて、これまでの議論で決定したことは、4月から6月ごろにかけて情報収集として市民団体、自治会等の懇談会によって情報収集する。7月、8月は各常任委員会で協議する。それを受けて8月、9月に執行部へ委員会として提言する。9月、3月は決算、予算等でどう反映されたのかチェックする。4月から6月までの実施については早期に広聴部会で具体化していく。
- 今回、政策討論会を行い、それぞれの委員会に振られたので、10月中には何らかの提案を議会からすべきだ。
- 政策討論会で与えられた内容は重たいものが多いので、すぐ結論を出すというのは難しいところもある。
- 政策形成サイクルや政策立案機能に対する委員の持っているイメージが違うのではないか。だから議論として深まっていかない。全国的に政策提言について経験を積んでいる議会があるので、先進地視察を提案したい。
- 政策研究会の設置、議会の附属機関の設置は、政策形成サイクルの中でその必要性が出てくるものなので、議論の過程で話していけばいい。

- い。
- 特定のテーマがあって附属機関の問題が出てくるのもっと先でいい。
 - 自治会懇談会については、自治連との意見の相違があると思うので、この特別委員会と自治連との懇談会が必要ではないか。
 - 事前に、正副委員長と議長が申し入れをしたらどうか。→そのようにすることとした。
 - 市民参加の一つとして市民モニター制度をぜひやりたい。→次回、災害時の議会の対応も含め、視察資料を配布して協議することとした。

3 次回委員会の開催日について

次回の委員会は、10月9日10時から開催することとした。